

アプトポッド、シリーズCラウンドにて総額8億円の資金調達を完了

株式会社アプトポッド（本社：東京都新宿区、代表取締役：坂元 淳一、以下アプトポッド）は、DBJ キャピタル株式会社、みずほ証券プリンシパルインベストメント株式会社、エムスリー株式会社、きらぼしキャピタル株式会社、SMBC ベンチャーキャピタル株式会社を引き受け先とする第三者割当、及び日本政策金融公庫からの融資により総額約8億円の資金調達を完了しました。特にエムスリー社とは遠隔医療・ヘルスケア分野への当社技術の適用やサービス開発などを視野に協業してまいります。

資金調達の背景と目的

昨今、自動車産業を中心に、急速に加速するCASE化(Connected：コネクテッド, Autonomous：自動運転, Shared：シェアリング, Electric：電動化)の技術革新により、大きなパラダイムシフトを迎えています。また、5G時代を見据えた自動車分野におけるMaaS (Mobility as a Service)、建設機械におけるiConstructionなどあらゆる分野で“モノ”と“データ”によるDX(デジタルトランスフォーメーション)は必須要件として急激な進化の時代を迎えています。

アプトポッドは自動車分野、建機・重機・農機などの産業機械分野、ロボティクス分野を中心に産業IoTミドルウェア『intdash』<https://www.aptpod.co.jp/products/intdash/about-intdash/>を核としたプラットフォーム製品・サービスを展開し、2018年のリリース以来、製造業を中心に、約30社における50以上のDXプロジェクトで採用されています。当社では今後の5G時代を見据えた高度なデータネットワーキング/プロセッシングの需要を見据え、クラウドコンピューティング、エッジコンピューティングなどのあらゆるデータ処理ネットワークを構築するためのプロダクト開発とご提供を目指しています。直近ではハードウェア事業としてエッジコンピューティングブランド『EDGEPLANT』<https://www.aptpod.co.jp/products/edgeplant/>をリリースするなど、5G時代のDXに包括的に貢献するための総合的な製品・事業展開を行っています。

今回の資金調達により

- 急増するDX需要のための対応体制強化
- 新製品開発などハードウェア事業の強化拡大
- 遠隔医療・ヘルスケアなどの新規分野への進出のための研究開発
- 自社開発プロトコルの標準化活動など、当社プラットフォーム技術の啓蒙促進
- アフターコロナ時代におけるグローバル展開準備

などを目指した投資・活動を行い、さらなる成長加速を目指します。

主な第三者割当引受先

- DBJ キャピタル株式会社
- みずほ証券プリンシパルインベストメント株式会社
- エムスリー株式会社
- きらぼしキャピタル株式会社
- SMBC ベンチャーキャピタル株式会社 [順不同]



Web サイト

<https://www.aptpod.co.jp>

株式会社アプトポッドについて

産業 IoT におけるファストデータ（高速時系列データ）のスペシャリストとして、IoT/M2M におけるセンサー・ハードウェア技術、クラウド技術、およびグラフィカルなユーザーインターフェイス技術まで、ワンストップのテクノロジーを有する IoT ソフトウェア/サービス企業です。産業シーンにおける高速で大量なデータの収集、伝送、高度なリアルタイム処理、イベント処理を実現する包括的なフレームワークを提供しています。

設立：2006 年 12 月

本社所在地：東京都新宿区四谷 4-3 / 代表：代表取締役 坂元 淳一

本リリース/製品等に関するお問い合わせ

株式会社アプトポッド 東京都新宿区四谷 4-3 四谷トーセイビル 3F

<https://www.aptpod.co.jp/contact/>

Copyright(C) 2021 aptpod,Inc.※「intdash（イントダッシュ）」および「Visual M2M（ビジュアルエムツーエム）」はアプトポッドの登録商標です。※記載されている会社名、製品名などは該当する各社の商標または登録商標です。